



えのしろ

よっかいちしりつみえきたしやうがっこう
四日市市立三重北小学校

れいわ ねん がつ にちほつこう
令和3年10月13日発行



がっこうきょういくもくひやう
学校教育目標

こころゆた ころゆた
心豊かにたくましく、ともに学び合う子どもの育成

ランプシェイドづくり (7日)

4年生では、山之^{やまの}一色^{いっしき}町^{ちやう}にある山三^{やまさん}瓦^{がわら}工業^{こうぎやう}の服部^{はっとり}さんをお招^{まね}きして、ランプシェイド^{らんとせいど}づくりをしました。最も^{もつと}盛^{さか}んだった大^{たい}正^{しょう}時代^{じだい}から昭和^{しやうわ}初期^{しよき}にかけて、瓦屋^{かわらや}は8軒^{けん}もあつたそうです。現在^{げんざい}では、山之^{やまの}一色^{いっしき}町^{ちやう}には山三^{やまさん}瓦^{がわら}工業^{こうぎやう}だけとなり、三河^{みかわ}(愛知^{あいち})や淡路^{あわじ}(兵庫^{ひょうご})の瓦^{がわら}が多^{おほ}くなり、全国^{ぜんこく}でも瓦屋^{がわらや}は少^{すく}なくなつています。地元^{じもと}にある企業^{きぎやう}と連携^{れんけい}することで、地域^{ちいき}に誇^{ほこ}りを持ち、地域^{ちいき}を愛^{あい}する心^{こころ}を育^{はぐ}むことにつながります。将来^{しやうらい}、瓦^{がわら}を制作^{せいさく}する職人^{しやくにん}となる人材^{じんざい}が生まれることもステキなことですね。



服部さんは、全日本瓦工事業連盟青年部の相談役として、瓦の製造や施工技術を「ユネスコ無形文化遺産」へという取り組みもしています。



今回は、平らにされた板状^{ばんじやう}の粘土^{ねんど}を、高さ^{たか} 15 cmほどに切^きった塩化ビニール^{えんか}の筒^{つつ}にまき、クッキー^{かたぬ}をつくる^{もよう}ときの型^{かた}抜き^{ぬき}や粘土^{ねんど}ベラ^{べら}で模様^{もよう}をつくりました。

今後は、自然乾燥^{しぜんかんそう}させてから素焼^{すや}きをし、釉薬^{ゆうやく}を付^つけて、本焼^{ほんや}きへと進^{すす}んでいきます。できあがり^{たの}が楽しみ^{たのしみ}です。

避難訓練 (想定：地震発生⇒土砂災害発生) 実施

7日午後10時41分に関東地方で5強の地震が発生しました。火災の発生やビルの壁の崩落、多くのけが人や帰宅困難者、水道管などの破損等がニュースなどで放送されました。



その翌日の8日に、緊急地震速報の受信訓練を行い、その速報(「…震度6弱の地震が、12秒後に発生します…」)を活用して、上記の想定で訓練を実施しました。

本校の体育館東側から遠保神社にかけての法面と、運動場西側が「土砂崩れ危険箇所」になっています。今回は、南の校庭(通称：南庭)に避難しました。「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」を合言葉に実施しました。その後の事後指導では、社会科で「自助・共助・公助」の学習をしている学年もありました。

訓練ですが、いかに真剣に取り組むことができるかが、災害時の行動に現れます。ご家庭でも今一度、災害時に持っていくものや避難場所などの再確認をお願いします。